

少年少女合唱団 地球組 25周年記念コンサート

かわらないこと

2025年

12月20日(土)

〔開場〕16:30 〔開演〕17:00

12月21日(日)

〔開場〕14:30 〔開演〕15:00

Special Guest

NHK「おかあさんといっしょ」
第19代歌のおねえさん

はいだ しょうこ

Niterra 日本特殊陶業市民会館
ビレッジホール

入場 1,500円 入場券あり 全席自由

座席が不要な2歳未満のお子様は無料 (チケット不要)

詳しくは裏面をご覧ください

出演者へのプレゼントや
花束のお預かり、手渡しはできません。



入場券の予約は地球組ホームページから
<https://www.chikyugumi.com/>

※入場券、又は入場券の予約が無い方は入場できません。
※ご予約状況により、当日券の販売は行わない場合があります。

地球組

検索



【ご挨拶】

2000年、世界中の子ども達の未来が、明るく、幸せなものであって欲しいとの願いこそが地球組誕生、命名の原点。産声をあげた赤ちゃんには、国籍や民族や、宗教や、言葉の壁、肌の色も、関係ありません。しかし、生きていく中で、心に壁が生まれ、差別や偏見を抱いたり…それが地球に生まれた子どもの幸福を妨げる根源であるとの思いから地球組は生まれました。音楽が国境を超える力を持つならば、この歌声に乗せれば、平和を願う心も、きっと国境や心の壁を越えてくれるものと。

創設から25年、その変わらぬ思いを抱き、歌い続けてきました。差別や偏見、憎しみの無い、笑顔に溢れる世界に変わってくださることを信じて。しかし、欧州や中東では信じがたい戦争や紛争が勃発し、苦しく悲しい映像が相変わらず送られてきます。

変わらぬ思い、変えたい未来、変わらない世界…

今年も、素晴らしいゲストにお越し頂くことになりました。うたのおねえさんとして日本中の家族のあこがれになって以来、今も多方面に活躍し、その美しさ、美しい歌声も変わらない“はいだしょうこ”さん。一緒に子どもたちの未来こそは幸せな世界であって欲しいと願い歌います。

少年少女合唱団地球組 代表 池田則浩



【少年少女合唱団 地球組】

2000年に名古屋青年会議所により創設。歌が上手だとか、下手だとか、障害があるとか、無いとか、通う学校はもちろん、障がいや国籍、言葉の壁など全ての垣根を越えた仲間たち。全国でも珍しい「共生合唱団」として、「平和」へのメッセージを伝える。

愛・地球博をはじめ、法務省、文部科学省、愛知県、名古屋市などが主催のさまざまなステージにも出演。また、テレビや新聞などでも度々取り上げられ、多くのアーティストとも共演するなど、個性的な合唱団として活動。25周年を迎え、なお、変わらぬ120名のパワーをお聞き下さい。

<https://www.chikyugumi.com/>

【スペシャルゲスト／はいだしょうこ】

3月25日生まれ。東京都出身。作曲家の中田喜直のもと、幼少期より童謡歌手として全国各地のコンサートをまわる。1998年、宝塚歌劇団入団。娘役として活躍。2002年に退団。2003年、NHK「おかあさんといっしょ」第19代うたのおねえさんに就任。2008年、番組卒業後も役者や歌手活動のほか、テレビ番組への出演多数。NHK大河ドラマ「真田丸」に浅井三姉妹の一人の初役として出演するなど活躍の場を広げ、子どもから大人まで幅広い年齢層から人気を集めている。ピアニストの実父と共に共演しているCD「中田喜直の世界ほしとたんぽぽ」も発売中。最近では、YouTube「はいだしょうこの歌とか、」でも数多くの歌を届けている。



【交通アクセス】

- ・地下鉄名城線・名港線「金山」下車 連絡通路あり
- ・JR東海道本線 中央本線「金山」下車
- ・名鉄本線「金山」下車 北へ徒歩5分

【入場券の予約について】

地球組のホームページから予約頂けます。画面の指示に従って操作と、予約整理番号の取得をお願い致します。なお、予定枚数終了と同時に、又は公演日直前に予約画面も終了致しますので、あらかじめご承知願います。

(公演に関する問い合わせ先) 少年少女合唱団地球組事務局・池田
e-mail chikyugumi-ikeda@mediacat.ne.jp
TEL 090-3253-8371

(注) 小さなお子様も入場頂けますが、他の方に御迷惑にならないように、保護者の方には御配慮願います。

会場で行う募金は、全額を以下の団体へ振り分けてお届けします。



【世界の飢餓とWFP国連世界食糧計画(国連 WFP)】 2020年ノーベル平和賞受賞

現在、世界では、およそ最大6億7300万人が飢餓に苦しんでいます。国連WFPは、飢餓と貧困の撲滅を使命に活動する国連の食料支援機関です。災害や紛争時には人びとの命を守るために食料を配給し、学校では子どもの栄養状態や健康改善のため、給食を提供しています。

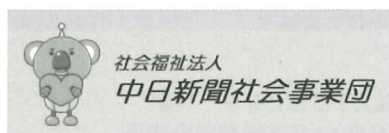
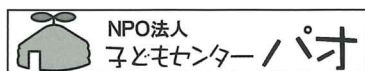
詳しくはホームページ(<https://ja.wfp.org/>)をご覧ください。

☆国連WFPにお届けする募金の全額は、飢餓と貧困に苦しむ国の学校給食支援に役立てられます。

NNPO法人子どもセンター「パオ」は、虐待などが原因で、安心できる家庭や居場所がない子どもたちを支援しています。緊急に避難できるシェルターの「丘の家」を運営しています。パオでは、子どもたちへの巣立ちをスムーズなものとするために、継続的に支援する「ステップハウス」を運営しています。

詳しくはホームページ(<http://www.pao.or.jp>)をご覧ください。

☆パオにお届けする募金の全額は、NPO法人子どもセンターパオに送られ、パオの活動に役立てられます。



中日新聞の読者などから寄せられた寄付金をもとに、児童・障がい・高齢者などの福祉事業の実施や支援を行っています。また、児童養護施設・児童心理治療施設「中日青葉学園」(日進市)の経営をするとともに、地域に根差した福祉活動を進めています。

詳しくはホームページ(<http://www.chunichi-shakaijigyo.jp/>)をご覧ください。

☆中日新聞社会事業団にお届けする募金の全額は、事業団の助成金事業に役立てられます。